

事業目的

国道401号は会津若松市を起点とし群馬県沼田市に至る延長220kmの幹線道路であり、沿線の住民の生活を支える路線となっています。

特に、昭和村においては、都市機能が集積する会津若松市へ直結する唯一の幹線道路であり、産業の振興、救急医療施設へのアクセス等において、非常に重要な路線となっています。

しかし、大沼郡会津美里町と大沼郡昭和村の町村境に位置する博士峠部においては、線形不良、急カーブ、急勾配等により、著しく交通の支障となっていることに加えて、冬期間においては雪崩等の危険性のため、通行止めとなっており、道路交通上の大きな障害となっています。

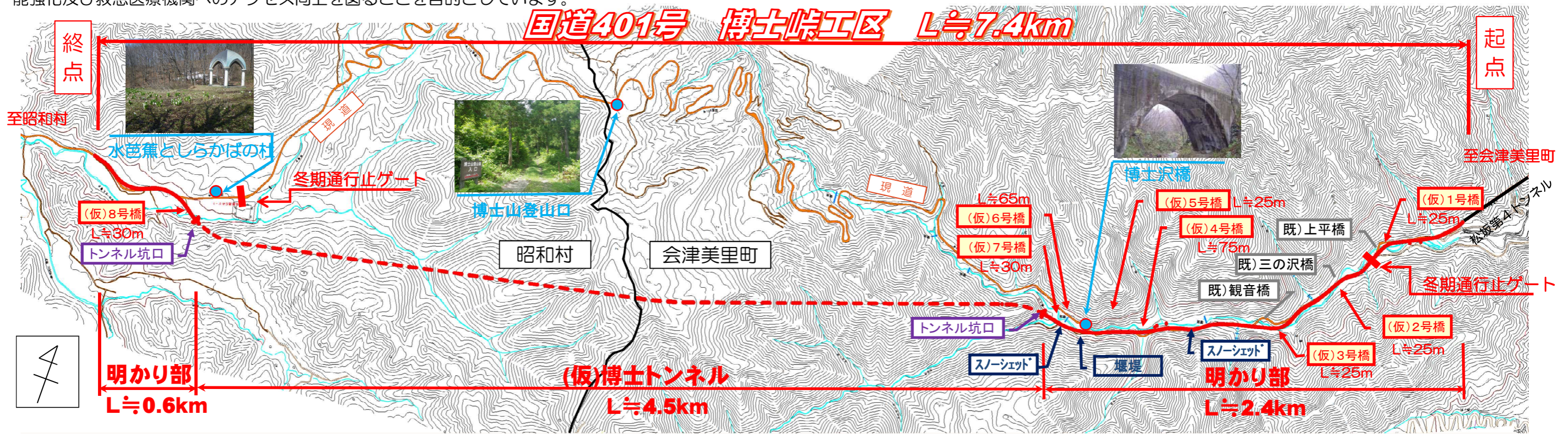
このため、本事業は、博士峠部の道路改良を実施することにより、安全で円滑な交通を確保するとともに、冬期通行止を解消し、昭和村と会津若松市の連絡機能強化及び救急医療機関へのアクセス向上を図ることを目的としています。

位置図



経緯

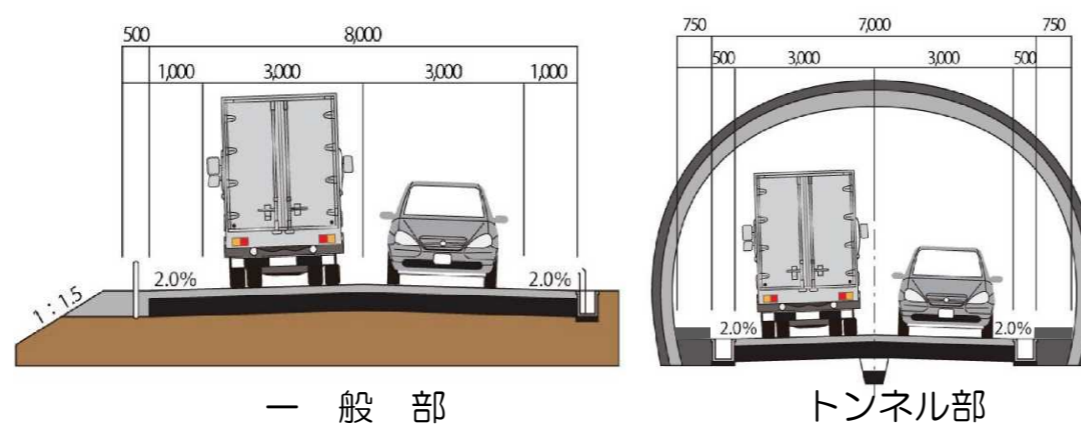
- 平成24年度 道路概略設計、地表地質踏査、費用便益分析
- 平成25年度 福島県公共事業評価委員会
- 平成26年度 事業採択、事業説明会（昭和村・会津美里町 H26.10）
ルート協議、中心杭設置式（H26.10）、
第2回道路環境検討会（H26.12）
- 平成27年度 道路詳細設計、橋梁予備設計、トンネル予備設計、
地質調査など
計画説明会（昭和村・会津美里町 H28.2）



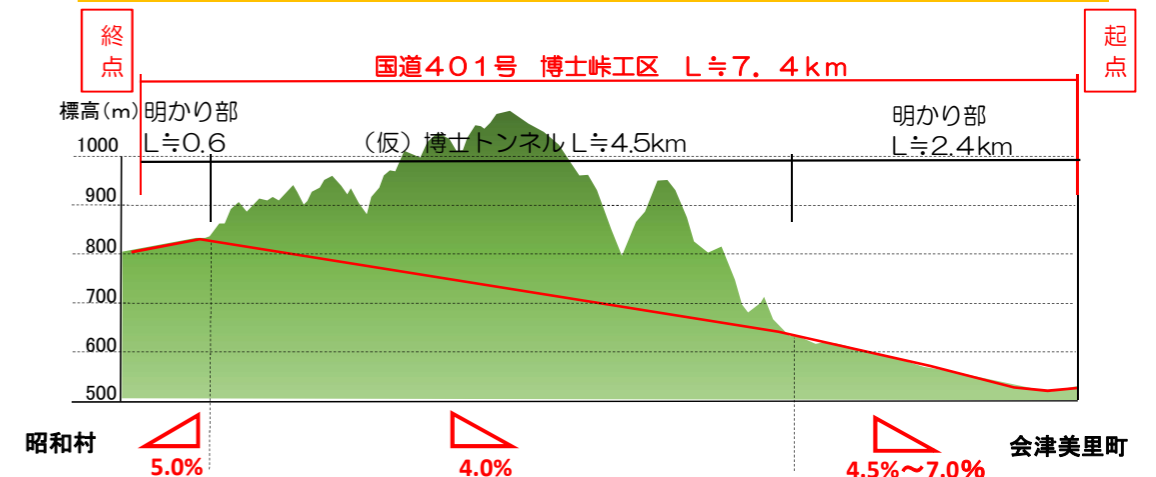
道路計画

- 路線延長 : 約7.4km
(うちトンネル約4.5km)
- 車線数 : 2車線
- 設計速度 : 40km/h
- 道路区分 : 第3種3級
- 計画交通量 : 535台/日

幅員



縦断

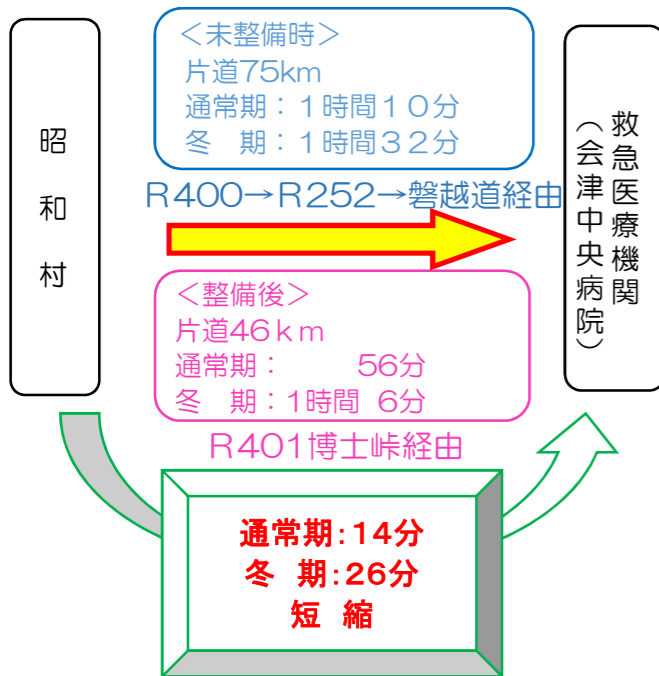


整備効果

冬期間通行止の解消及び 救急医療機関搬送時間の短縮

現在の冬期通行止区間を整備することにより冬期通行止め解消がされ、博士峠の通年通行が可能となります。

また、現在昭和村から会津若松市内の病院への救急搬送は冬期間以外の通常期においても、患者への負担を避けるため急勾配や急カーブの連続する博士峠を避け国道252号・磐越道を経由せざる得ない場合がありますが、本事業により、通年安全に博士峠を通行できるようになれば、救急搬送時間を大幅に短縮することが可能となります。



昭和村から救急医療機関までの救急搬送所要時間

災害時避難ルートの確立

峠部の落石や斜面崩壊危険箇所をトンネル整備することにより災害に強い道路となり、災害時に信頼できる避難ルートとなります。



地域振興の発展

博士峠の通年通行化の実現により、奥会津地域の交流が活性化され地域振興の発展が期待されます。



環境への配慮

本事業工区は全体の約6割はトンネルによって整備するため、自然環境への影響が最小減に抑えられます。また、トンネル以外の箇所においても現道敷を極力使用し、自然の改変を抑えており、併せて学識経験者を含む委員会である「国道401号博士峠工区道路環境検討委員会」を立ち上げ、自然環境における専門家の意見を踏まえつつ、道路を計画しております。



博士峠の景色



天狗岩



水芭蕉



新宮川ダム



博士山登山口

福島県会津若松建設事務所
事業部 道路課
〒965-8501
会津若松市追手町7番5号
電話：0242-29-5431
FAX：0242-29-5459

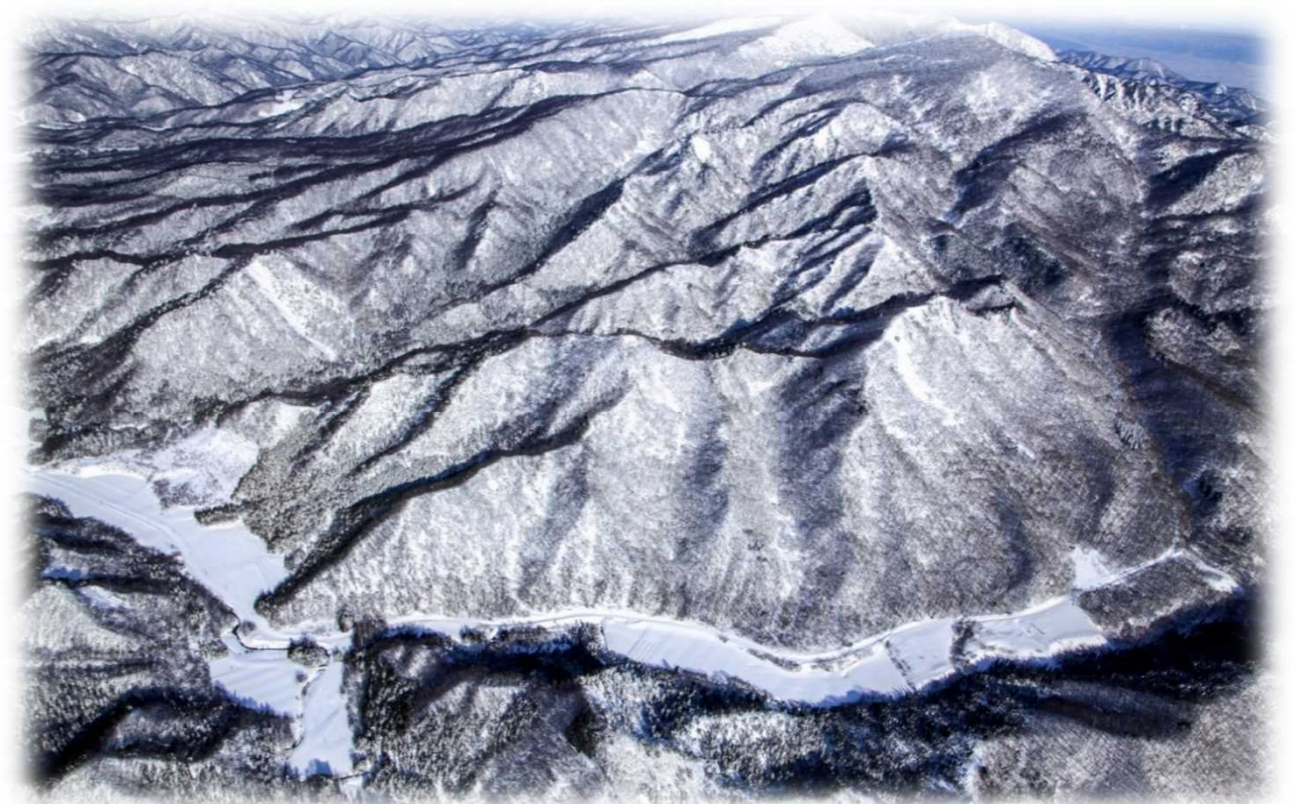


平成28年2月更新

国道401号

博士峠工区

～博士峠冬期通行止解消に向けて～



福島県会津若松建設事務所